

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 22 日現在

機関番号：45405

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24520255

研究課題名(和文) 禅林における幼童・少年僧をめぐる文筆活動

研究課題名(英文) The Literary Works of Young and Adolescent Monks in Zen Temples

研究代表者

朝倉 尚 (ASAKURA, Hisashi)

鈴峯女子短期大学・その他部局等・その他

研究者番号：80033231

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)： 禅林における幼童・少年僧をめぐる文筆活動について、現存する作品集を対象として、その存在意義を具体的に究明することに努めた。艶詞文芸と詩(偈頌)の総集の二分野について、特質の解明と隆盛の様相の観点から、実態を探究した。

現存する作品集の現状を把握し、成立時における存在意義を確認した上で、研究の現状(今日的評価)と比較した。艶詞文芸の作品集については適宜選択し、完本を作成して読解を進め、具有する特徴を明らかにした。詩(偈頌)の総集についても、編纂過程や収集源の解明、作品読解を通じ、存在意義について考察した。

研究成果の概要(英文)： This is a careful and considered investigation of the significance of existing literary work of young and adolescent monks in Zen temples. The two areas from romantic literary works and the general collection of poems or 'geju' (eulogies in praise of Buddha) were considered from the viewpoints of explaining their true nature and characteristics as well as aspects of understanding their prosperity.

研究分野：人文学

 キーワード： 五山文学 艶詞文芸 詩(偈頌)の総集 禅林聯句 錦繡段(抄) 続錦繡段(抄) 総称「一節集」
 新選集・新編集

1. 研究開始当初の背景

(1) 組織に課せられた重要事の一つは、次代を担う人材を育成することにある。禅林においても、喝食や少年僧に対して、特別に処遇し、英才教育を施し、将来の大成を期した模様である。

(2) 当該活動を二分し、第一は、禅林において喝食や少年僧を対象に、半ば慣例行事化した文芸として成立した艶詞文芸の分野、第二は、喝食や少年僧の教育・文筆修行の教材として用いられたと推される詩(偈頌)の総集の分野として、調査・検討することを進めつつあった。

(3) 艶詞文芸については、辻善之助『日本仏教史(中世篇之三)』(岩波書店、昭24)以来、否定的な評価が主流であったが、再評価の論調も生まれつつあった。筆者は後者の立場に立つ。

(4) 詩(偈頌)の総集については、禅林で流布した初学(幼学)書の中で、特に本朝禅僧が編纂した作品集を取り上げた。基礎的作業を踏まえた上で、紹介、解説し、若干の論述を進めた。

2. 研究の目的

(1) 現存する作品集の状況を把握し、未収集作品集について補完する。

(2) 成立時における存在意義を確認した上で、研究の現状(今日的評価)と比較する。

(3) 艶詞文芸の作品集については、作品の読解を進め、具有する特徴を明らかにする。

禅林聯句の現存作品集を、文筆修養・育成の観点から、その存在意義を明らかにする。

半ば慣例行事化した艶詞文芸作品を、禅林内の恒例行事として捉えることにより、存在意義の新たな一面を明らかにする。

艶詞(艶詩と啓筭)を、従来の見方にとらわれず、禅林世界が創出した創作劇と解することによって再評価する。

(4) 詩(偈頌)の総集については、編纂過程や収集源の解明、作品読解を通じ、存在意

義について考察する。

五山版の新撰貞和集・重刊貞和集に収載される作品の検討を通じ、特徴と問題点を見出す。

新選集・新編集・錦繡段(抄)・続錦繡段(抄)が、初学(幼学)書として急速に受容されるにいたる過程を解明し、その要因に迫る。

中華若木詩抄を、基礎的な研究を踏まえた上で、初学(幼学)書としての存在意義を明らかにする。

3. 研究の方法

(1) 資料収集

本研究の遂行に当たり、未収集の作品集が多く含まれる分野としては、一つは艶詞文芸の分野における艶詩(狭義)と啓筭からなる作品集であり、一つは詩の総集である錦繡段(抄)と続錦繡段(抄)である。これらを中心に関連作品集・資料を所蔵する諸機関に向き、再確認、調査、収集した。

(2) 作品集(諸本)の特徴整理と作品の読解

作品集が具有する特徴は、その集が成立した背景と存在意義を明らかにすることになり、作品の読解はそのジャンル特有の表現と内容(観念的世界と価値の転換)を探ることになる。前者については錦繡段(抄)と続錦繡段(抄)、後者については艶詞文芸を中心に据えて考究した。

(3) 再評価に具えての準備

従来より顧みられることの少ない分野であり、改めて脚光を浴びせ、再評価されるために、紹介論文を用意すると同時に、何よりも基本となる作品集については諸本を整理した上で翻刻して公刊に伝えられるように準備する必要があることを痛感し、極力実行に移した。

4. 研究成果

(1) 所在が確認されている、艶詞文芸と詩

(偈頌)の総集、さらにこれに関連する未収集の作品集について、所蔵機関に出向いた上で改めて実物を調査し、手写や直接撮影の場合もあるが、多くは複写を依頼して収集した。国会図書館、福井県立文書館、西尾市岩瀬文庫、神奈川県立金沢文庫、同歴史博物館、鎌倉国宝館、東京大学史料編纂所、慶應義塾大学三田メディアセンター貴重書室、天理大学附属天理図書館、大谷大学図書館、京都大学図書館等に及ぶが、特に内閣文庫、大東急記念文庫、建仁寺両足院、東洋文庫については毎年度出張を果たした。

(2) 艶詞文芸分野・禅林聯句については、特に京都大学附属図書館平松文庫所蔵「東遊集聯句」(内題)を翻字した。当該本の特徴としては、全句にわたり作者名が注記されているため、諸本との校合、さらには各句の作者が特定された上での解釈(特に当座的性格)について、大いなる前進が期待される。

(3) 艶詞文芸・試筆詩と試筆唱和詩については、將軍家を出自とする喝食・維山周嘉の例を取り上げ、紀要論文「景徐周麟の文筆活動 延徳四年=明応元年(3)」(後掲、主な発表論文等欄参照)において、慣例行事化の実態を詳述した。

(4) 艶詞文芸・送行詩と紹寄詩に関連し、当代の遣明船の派遣準備の実態と禅林の役割を解明するために、「第一五回遣明船派遣と葦洲等縁」と標題して、紀要論文「景徐周麟の文筆活動 延徳四年=明応元年(4)」(後掲、主な発表論文等欄参照)において、実態を詳述した。葦洲の法嗣が「木母集」作品群(後出)の宛人・東叔等元である。

(5) 艶詞文芸・艶詞(艶詩と啓筭)

『蔭涼軒日録』に描かれる、宛人・雲英宗悦に対する艶詞に関わる活動記事につい

て検討し、雑誌論文「演出された文芸『艶詞』に関わる活動 宛人・雲英宗悦の場合」(後掲、主な発表論文等欄参照)に発表した。現場の状況・実態を把握することで、艶詞文芸の再評価の気運が高まることを期待した。

東叔等元を宛人とする艶詞活動について、差出人・梅雲承意『歳寒集』(建仁寺両足院蔵)所収の「木母集」作品群を、紀要論文「景徐周麟の文筆活動 延徳四年=明応元年(2)」(後掲、主な発表論文等欄参照)において、特別に立項して紹介し、分析を施した。

大東急記念文庫蔵『一節集』についての精査結果を論考に纏め、艶詞文芸における最初の本格的な作品集と見なされている総称「一節集」の全貌を解明するとともに、心田清播の別集の完成版を整えることができた。

大東急記念文庫蔵『歳寒集』については、史料編纂所謄写版本の原本である久原文庫旧蔵本であった。

(6) 詩(偈頌)の総集

『錦繡段(抄)』の諸伝本の調査・収集を徹底し、底本を定めて諸本間の校合を進めるとともに、収集源である『新選集』『新編集』の諸本と比較、検討することにより、編纂過程と入集状況の解明に努めた。その際には、作者名表記を一つの指標とした。

『続錦繡段(抄)』についても、諸伝本の調査・収集を徹底し、底本を定めて諸本間の校合を進めるとともに、収集源である『新選集』『新編集』の諸本と比較、検討することにより、編纂過程と入集状況の解明に努めた。その際には、作者名表記を一つの指標とした。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 4 件)

朝倉 尚、景徐周麟の文筆活動 延徳四年=明応元年(4)
人文社会科学研究集報、査読無、第 61 巻、2014、pp1-45

朝倉 尚、景徐周麟の文筆活動 延徳四年=明応元年(3)
人文社会科学研究集報、査読無、第 60 巻、2013、pp1-27

朝倉 尚、景徐周麟の文筆活動 延徳四年=明応元年(2)
人文社会科学研究集報、査読無、第 59 巻、2012、pp1-27

朝倉 尚、演出された文芸「艶詞」に関する活動 宛人・雲英宗悦の場合
国語と国文学、査読有、89 - 6 巻、2012、pp21-38

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕
出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

書評(計 1 件)

朝倉 尚、堀川貴司著『五山文学研究 資料と論考』

国語と国文学、89 - 9 巻、2012、pp67-72

6. 研究組織

(1)研究代表者

朝倉 尚 (ASAKURA, Hisashi)

鈴峯女子短期大学・その他部局等・その他

研究者番号：80033231

(2)研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者

()

研究者番号：